

平成30年度事業計画

〈はじめに〉

今年にかけて「蝦夷地」と呼ばれていた本道が、明治2年8月に「北海道」と命名されてから150年に当たり、道内各地では様々な記念セレモニーやイベントが計画されています。

昨年度の旭川は、旭山動物園が開園50周年、3年に一度開催の国際家具デザインフェア旭川は10回、当協会が実行委員会事務局となり毎年開催している「こたんまつり」は60回目を数えるなど何かと節目の多い年でしたが、本年度は「旭川冬まつり」が第60回目を迎えるほか、とりわけ旭川地域の観光や経済活動にとって影響の大きい幾つかの事柄が始動する年になりそうです。

その一つが旭川空港です。国際便の増加に伴い、狭隘であるなど懸案となっていた国際線ターミナルはいよいよこの秋の11月に機能を大幅に拡充して、供用が開始される予定です。また、旭川空港はこれまで千歳空港など道内他の6空港とともに空港運営の一括民営委託化に向けた検討を進めてきましたが、委託先の選考という最終局面を迎えます。旭川空港の国際線ターミナルの機能拡充、空港運営の民営化のいずれもが、道北地域の空の玄関口として、海外観光客等を中心に今後の利用増が期待され、当地域の観光振興に与える影響は極めて大きいものと考えられます。

また、旭川をはじめとする上川中部1市6町が参画して、新たな観光地域づくりを目指す日本版DMO法人「大雪カムイミンタラDMO」がこの4月から本格的に始動いたしました。今後、当該法人自らが市所有のスキー場「カムイスキーリンクス」の運営を担い、近郊の他スキー場とも連携しながら冬季スノーリゾート地域の創出を目指す一方で、当地の四季明瞭で豊かな自然や新鮮な一次産品を素材とした食、優れたものづくり産業や高度な医療技術を擁した程よい都市機能などの地域の特性を最大限生かしながら、新たな観光地域づくりに向けた牽引的な役割を果たしていくことが期待されています。

エリア内では、この他、大雪山周辺のアイヌ文化が去る5月24日に文化庁の日本遺産としての認定を受け、また、ジオパーク構想についても、日本ジオパーク認定を受けようとする動きがありますが、いずれにいたしましても、この地に住む者がこの地のことをよく理解し、さらに磨きをかけながら地域の魅力を国内外に発信していくことはとても大切なことです。

当協会は、600余の会員とともに平成30年度も引き続き、旭川市、旭川商工会議所、あさひかわ商工会、その他関係諸団体と連携しながらこうした新たな動きも積極的に支援しつつ、旭川地域の魅力発信やPR、各種イベントの実施、観光客・MICEの誘致などに取り組み、旭川はもとより上川、道北地域の観光振興に尽力していく所存です。

1 観光宣伝及び観光客の誘致

(コンベンション・誘致委員会所管)

- (1) 国内外観光客の誘致促進
- (2) 教育旅行の誘致促進（動物園、科学館、近隣市町村と連携した体験型・通年型旅行の推進）
- (3) バリアフリー観光の推進
- (4) 友好提携団体（公社）宮崎市観光協会との相互交流の推進

(観光情報委員会所管)

- (1) 市内観光スポットの紹介や季節・イベント情報の発信

(企画事業委員会所管)

- (1) 北海道音楽大行進、こたんまつり等各種イベントの実施
- (2) 夏まつり、冬まつり、バーサロペットジャパン、北の恵み食べマルシェ等各種イベントの開催協力

2 観光資源の保護、開発及び観光地の美化

(コンベンション・誘致委員会所管)

- (1) 平和通買物公園等中心市街地の活性化促進
- (2) 通過型から滞在型への着地型観光の推進

(観光情報委員会所管)

- (1) 外国語表示の観光案内看板、メニュー等の整備推進

(企画事業委員会所管)

- (1) あさひかわ街あかりイルミネーション事業の推進
- (2) 市民憲章の推進及びごみのポイ捨て禁止運動への参加協力
- (3) 観光拠点の美化・イベント開催跡地の清掃

3 観光拠点の整備改善及び管理運営

(コンベンション・誘致委員会)

- (1) 神居古潭、北の嵐山、北彩都地区等各観光拠点の整備推進
- (2) 北海道シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート及び北海道ガーデン街道の整備推進
- (3) 空港利用拡大事業（国内外航空路線の維持・拡大）の推進・協力

(企画事業委員会所管)

- (1) 旭川観光物産情報センターにおけるレンタサイクル、レンタルスキー事業等の充実
- (2) きた・ひがし北海道広域観光周遊ルートの整備推進
- (3) サイクリングロード、レンタカー利用等による周遊観光コースの開発

4 接遇の改善及び向上

(観光情報委員会所管)

- (1) 接遇改善、外国人観光客受入れ充実に向けた講習会などの実施
- (2) 観光拠点視察などによる意識啓発

5 コンベンションの誘致、創出及び支援

(コンベンション・誘致委員会所管)

- (1) コンベンション主催者（本部及び北海道支部）及び地元主催者への誘致活動
- (2) 旅行エージェント等との誘致促進・協力活動
- (3) 北海道 MICE 誘致推進協議会による誘致活動（商談会等への出展参加）
- (4) 7都市情報懇談会（旭川市、秋田市、前橋市、岐阜市、松山市、姫路市、鹿児島市）による誘致活動及び情報収集
- (5) コンベンション先進都市の調査及び情報収集
- (6) コンベンション開催状況調査とデータベースの充実
- (7) コンベンション情報（会場、宿泊・交通アクセス等）の提供
- (8) コンベンション関連事業者情報（大会運営・設営、旅行、宿泊、印刷、土産品、各種レンタル等）の提供
- (9) コンベンション歓迎用看板、ステッカーの掲揚
- (10) 会員・市民へのコンベンション開催情報（報道依頼、ホームページ掲載等）の提供
- (11) イベント・コンベンションカレンダーの作成及び配布（上・下半期）
- (12) イベント・コンベンションカレンダー資料編の提供（会員限定）

(企画事業委員会・観光情報委員会所管)

- (1) スポーツ合宿誘致の推進

6 フィルムコミッション誘致及び支援

(コンベンション誘致委員会所管)

- (1) 映画・テレビドラマ等の撮影の誘致・支援
- (2) ジャパン・フィルムコミッションへの加入

(観光情報委員会所管)

- (1) ホームページでの情報発信

7 観光関係情報の収集及び提供

(観光情報委員会所管)

- (1) ホームページ、SNSを活用した観光情報の発信
- (2) 旭川観光物産情報センター運営業務の推進と充実
- (3) 旭川総合観光情報センター（あさテラス）、旭川観光物産情報センター、旭山動物園及び道の駅における観光情報提供の充実
- (4) 観光ガイドマップの製作及び配布
- (5) イベント・施設・風景の写真や映像などの観光発信に必要な素材の取得

8 旅行業法に基づく旅行業

(コンベンション・誘致委員会、企画事業委員会所管)

- (1) 着地型旅行商品の開発・販売、航空券・ホテル・旅館等の手配
- (2) (公社)宮崎市観光協会、南さつま市等との相互交流旅行の実施
- (3) 台湾G I A N T旅行社主催サイクリングツアーの受入れ

(4) その他当協会の関与が必要な旅行の実施

9 その他本協会の目的を達するために必要な事業

(総務委員会・企画事業委員会所管)

(1) 組織強化及び財政基盤の確立に向けた各種取組推進

(コンベンション・誘致委員会所管)

(1) 国、北海道、各市町村及び関係団体との連携・協力推進（上川地方観光連盟事務局等）

(2) (公社)日本観光振興協会、(公社)北海道観光振興機構、あさひかわ観光誘致宣伝協議会、(一社)大雪カムイミンタラDMO、(仮称)ジオパーク構想推進協議会、旭川空港利用拡大期成会等関係団体との連携・協力推進

(観光情報委員会所管)

(1) 旭川観光ボランティア協議会との連携強化